

# 2020年工業統計調査 確報集計結果

## 鳥取県の概要

全国及び地域別の工業の実態を明らかにするために、2020年（令和2年）6月1日を調査期日とし、すべての製造事業所を対象に実施した「2020年工業統計調査」の確報集計結果（鳥取県）を公表します。

なお、2019年工業統計調査結果を「前年」と表記しています。

### 1 事業所数、従業者数（令和2年6月1日現在・従業者数4人以上の事業所）

#### （1）事業所数 814 事業所

前年に比べて20事業所(2.4%)の減少

減少した主な産業は「金属製品」7事業所減、「プラスチック」5事業所減

#### （2）従業者数 33,444 人

前年に比べて479人(1.4%)の減少

減少した主な産業は「電子部品・デバイス」475人減、「生産用機械」172人減

(単位:事業所、人、%)

区分	事業所数				従業者数			
	令和元年	令和2年	増減数	増減率	令和元年	令和2年	増減数	増減率
鳥取県	834	814	△ 20	△ 2.4	33,923	33,444	△ 479	△ 1.4
全国	185,116	181,877	△ 3,239	△ 1.7	7,778,124	7,717,646	△ 60,478	△ 0.8

(注)令和元年は令和元年6月1日現在、令和2年は令和2年6月1日現在の数値。

### 2 製造品出荷額等、付加価値額（令和元年1年間・従業者数4人以上の事業所）

#### （1）製造品出荷額等 7,816 億円

前年に比べて240億円(3.0%)の減少

減少した主な産業は「電子部品・デバイス」172億円減、「生産用機械」61億円減

#### （2）付加価値額 2,476 億円

前年に比べて35億円(1.4%)の増加

増加した主な産業は「木材」44億円増、「食料品」31億円増

(単位:億円、%)

区分	製造品出荷額等				付加価値額			
	平成30年	令和元年	増減額	増減率	平成30年	令和元年	増減額	増減率
鳥取県	8,055	7,816	△ 240	△ 3.0	2,441	2,476	35	1.4
全国	3,318,094	3,225,334	△ 92,760	△ 2.8	1,043,007	1,002,348	△ 40,660	△ 3.9

(注)平成30年は平成30年1年間、令和元年は令和元年1年間の数値。

増減額・増減率は、調査単位の「万円」により算出した上で、四捨五入している。

### 3 製造品出荷額等の大きい業種

製造品出荷額等の大きい産業中分類別上位5業種は、「食料品」、「電子部品・デバイス」、「パルプ・紙」、「電気機械」、「金属製品」であり、構成比はすべての業種で全国の構成比を上回っている。

(単位：億円、%)

業種(産業中分類)	本県の製造品 出荷額等	本県の構成比 (A)	全国の構成比 (B)	構成比の差 (A-B)
食料品	1,572	20.1	9.3	10.8
電子部品・デバイス	1,480	18.9	4.4	14.5
パルプ・紙	986	12.6	2.4	10.2
電気機械	870	11.1	5.7	5.4
金属製品	446	5.7	4.9	0.8

#### 「食料品」1,572億円

(主な細分類業種)「冷凍水産食品製造業」388億円、「その他の畜産食料品製造業」186億円

「処理牛乳・乳飲料製造業」X億円、「生菓子製造業」97億円

※事業所数が少数の業種は、製造品出荷額等をX億円(秘匿)とした。

#### 「電子部品・デバイス」1,480億円

(主な細分類業種)「コネクタ・スイッチ・リレー製造業」430億円

「音響部品・磁気ヘッド・小型モータ製造業」354億円

「その他の電子部品・デバイス・電子回路製造業」308億円

「電子回路実装基板製造業」204億円

#### 「パルプ・紙」986億円

(主な細分類業種)「洋紙・機械すき和紙製造業」609億円、「板紙製造業」X億円

「段ボール箱製造業」102億円

#### 「電気機械」870億円

(主な細分類業種)「内燃機関電装品製造業」223億円

「その他の民生用電気機械器具製造業」180億円

「その他の産業用電気機械器具製造業」X億円

#### 「金属製品」446億円

(主な細分類業種)「鉄骨製造業」122億円、「製缶板金業」62億円

### 4 製造品出荷額等の構成比が、全国より低い業種

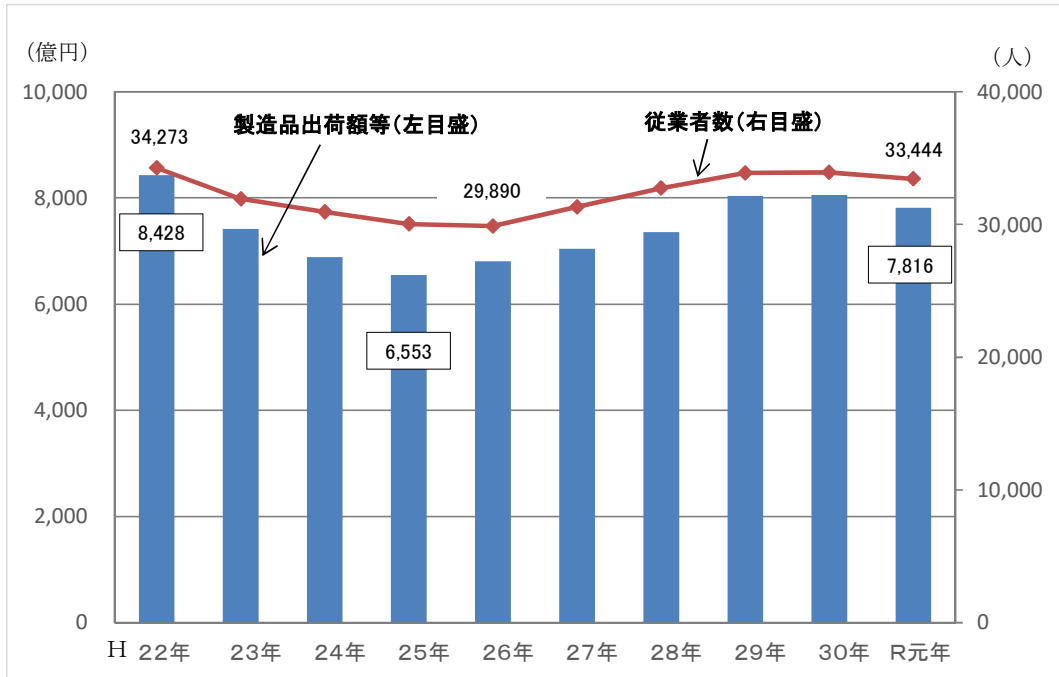
産業中分類別の製造品出荷額等の構成比が、全国の構成比を3ポイント以上、下回っている業種は、「輸送用機械」、「化学」、「石油・石炭」、「生産用機械」、「鉄鋼」の5業種であった。

(単位：億円、%)

業種(産業中分類)	本県の製造品 出荷額等	本県の構成比 (A)	全国の構成比 (B)	構成比の差 (A-B)
輸送用機械	289	3.7	21.1	△ 17.4
化学	52	0.7	9.1	△ 8.4
石油・石炭	22	0.3	4.3	△ 4.0
生産用機械	231	2.9	6.5	△ 3.6
鉄鋼	170	2.2	5.5	△ 3.3

## 5 製造品出荷額等、従業者数の推移

平成22年以降の製造品出荷額等、従業者数の推移をみると、製造品出荷額等は平成25年まで減少、従業者数は平成26年まで減少していた。その後は、いずれも増加が続いていたが、今回調査では減少となった。



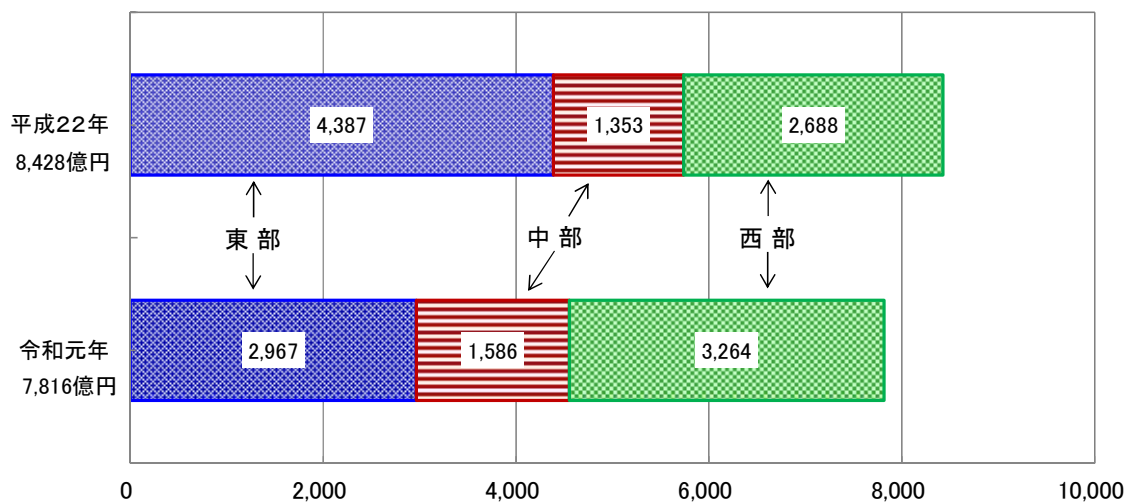
(注) 製造品出荷額等は、各年次における1年間の数値。

従業者数は、平成23年は平成24年2月1日現在、平成27年以降は翌年の6月1日現在、その他の年次は同じ年の12月31日現在の数値。

## 6 地域ごとの製造品出荷額等

地域ごとの製造品出荷額等をみると、令和元年は「西部地域」が3,264億円で最も大きく、次いで「東部地域」が2,967億円、「中部地域」が1,586億円の順となっている。

- ・東部地域〔鳥取市、岩美郡、八頭郡〕
- ・中部地域〔倉吉市、東伯郡〕
- ・西部地域〔米子市、境港市、西伯郡、日野郡〕



## 7 製造品出荷額が100億円以上の品目

製造品出荷額が100億円以上の製造品は16品目で、前年に比べて2品目減少した。

区 分	製 造 品 名
食 料 品	「処理牛乳」 「ブロイラー加工品（解体品を含む）」 「冷凍水産食品」
パルプ・紙	「塗工印刷用紙」 「中しん原紙（段ボール原紙）」
電子部品・デバイス	「液晶パネル」 「プリント配線板用コネクタ」 「スイッチ」 「プリント配線実装基板」 「他に分類されない電子部品・デバイス・電子回路」
（ そ の 他 ）	「普通合板」 「鍛工品」 「鉄骨」 「電力変換装置」 「携帯用通信装置（可搬用を含む）」 「自動車用内燃機関の部分品・取付具・附属品」

※2020年工業統計調査の確報集計結果は、次のホームページに掲載しています。

- ・鳥取県統計課HP <https://www.pref.tottori.lg.jp/kougyou/>
- ・経済産業省HP <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/index.html>